

## 外部評価意見への対応方針

番号	年月	外部評価意見	対応方針	分類
1	H28.6	<p>防犯・防災、子育て支援さらには高齢者等の見守り活動等、どの観点からも同じことがあてはまると考えるのだが、「隣の顔が見えない」時代になり、あらゆる弊害をもたらしている。</p> <p>その課題をクリアするためのカギは、やはり「町会加入」であると考えている。</p> <p>西区内に住む人、事業をする人、勤めている人が1つの組織となれるのが町内会です。その組織で人のつながり、絆ができれば、多くの問題が解決できると思います。個々に対応対策をうつのではなく、いかに町会へ入れるかを考えるべきだと思います。</p>	<p>町会や連合は、隣近所のつながりをもとにした、私たちのまちは私たちの手で合言葉に、地域自治の活動に大きく寄与されています。</p> <p>地域コミュニティの育成は、西区役所においても課題であり、地域の皆さんと連携して取り組んでいます。</p> <p>とりわけ、近年、西区への転入者が急激に増加していることから、これら転入者の方々への町会等への加入が増えることはこれからの地域活動の活性化に不可欠であることは委員ご指摘のとおりであると考えているところです。</p> <p>西区役所としましても、区役所1階に転入者への地域活動周知のブースを設置し、各連合の活動パンフレットを常時30部設置するなど周知に努めております。</p> <p>ほかに、西区外からの転入者の方にお配りする「転入者バック」に「町会のおしり」を同封するなど、情報を提供しておりますとともに、転入者だけでなく多くの区民の皆さんにもご覧いただけるよう、HPでの地域活動の紹介など地道に周知を続けてまいりたいと考えています。</p>	①
2	H28.6	<p>コミュニティづくりを新築マンションを中心に考えているようだが、新築は</p> <p>①大半が管理組合の役員をやりがらない</p> <p>②まだ、同じマンション内の方の顔と名前が一致しない</p> <p>③入居したばかりなので、</p> <p>(1)特に何も困っていない</p> <p>(2)何をどうすべきか全くわからない 状態だと考えられる。</p> <p>ターゲットはむしろ、第1回目の大規模改修を終えたマンション(築後10～15年経過)にし、モデルケースを作っていくべき。我々も、いざマンションのコミュニティを高めようと話し合い、近隣に聞いたところ、どこもそういう取組みをしておらず、自分たちで手探りでするしかなかった経験あり。</p>	<p>マンションでのコミュニティづくりは、子育てや防災など、マンション内での日ごろのつながりが必要な課題に重点を置きながら進めています。</p> <p>例えば、子育て世代のマンションに出向き、民生委員・主任児童委員など地域住民と協力しながら、マンションに居住する親子が集う「にっしー広場」を開催したり、また、日ごろの地域コミュニティとのつながりづくりが災害時における地域災害対策本部とのスムーズな連携の特に大切な要因となるという観点から、防災イベントのサポートや意見交換会への出席などに取り組んでいます。</p> <p>委員ご指摘のように、それぞれのかかわりは新築マンションに限ったものではありませんので、こういった取り組みの機会についていろいろと情報提供いただければと思います。</p>	①
3	H28.6	<p>こどもの教育環境は、保育所、幼稚園、小学校、中学校全てリンクしているの、できる限り早く未来設計を公表してほしい。</p> <p>日吉小学校でも3年先しかわからない</p>	<p>大阪市では、学校の適正規模を12学級以上24学級以下と設定し、子どもたちにとって、より良い教育環境を確保し、教育活動の充実を図るよう取り組んでいます。</p> <p>西区では、近年のマンション建設により児童数が急増し、25学級以上の大規模校、31学級以上の過大規模校となることが見込まれる小学校がある一方で、児童数の増加が見込まれず11学級以下の状況が続く小学校があります。</p> <p>この児童数の推移は、小学校だけの問題でなく、接続する中学校の教育環境課題となることから、中学校区単位で地域・保護者の皆さまと学校・教育委員会事務局・区役所が意見交換を行う場として「ラウンドテーブル」を順次開催してまいります。</p> <p>このラウンドテーブルにおいて、今後の児童数・生徒数の推移見込みと教室数や運動場面積などの学校施設のデータなどを示しながら、将来の教育環境のあり方について地域・保護者の皆様のご意見をお聞きし検討してまいります。</p>	①
4	H28.6	<p>区内の子育て支援施設(児童デイサービス)などは、障がいに対して正しく理解されていない時があるように思われます。数は増えているようですが、しっかりとご支援お願いいたします。</p> <p>子育て支援施設などは、年1回はエルム大阪(大阪市発達障害支援センター)から研修指導をしていただきたいと思ひます。</p>	<p>区内の子育て支援施設では、事業者が果たすべき責任として職員の資質・技能等の向上を図るため計画的に研修会を開催し人材育成に取り組んでおりますが、支援を必要とする児童への対応については、安全管理・指導員確保・研修などトータルでの運営管理をが必要であり、いただいたご意見につきましては関係局とも共有し、適切な指導を行ってまいります。</p>	①
5	H28.6	<p>いじめや問題行動、不登校対策の取組について、ある程度評価しますが、子どものこころの発達については、スクールソーシャルワーカーだけでは解決はできない。</p> <p>子どものこころの発達について脳科学、応用行動分析、学習理論など、科学的根拠に基づいた支援・助言が必要です。学んでいただきたいと思ひます。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、子どものこころの発達については、専門家による科学的根拠に基づいた支援・助言が必要であると考へます。西区では「いじめ」などの課題解決に向け、子どもを取り巻く環境に働きかけ課題解決につなげるため、区専属でスクールソーシャルワーカーを配置するとともに、子どもや保護者が個々に抱えている課題を解決するために、全小学校にスクールカウンセラーを配置しています。両者が連携しそれぞれの専門性を活かしつつ支援を行っていくことが必要であり、学校における環境整備や子育て支援室における相談業務などを引き続き支援してまいります。</p>	①

6	H28.6	<p>「どうぶつものさし」は面白く有効なことだが、その設定や根拠が具体性に欠けている。 そのため【オオカミ少年的】で内容が信憑性に欠け、緊迫感に乏しく、いたずらに恐怖心さえもあおっている。</p> <p>情報の正確さを示し、真の信憑性を持たせることにより、個人それぞれの予備知識として避難に役立つ標識にしてほしい。</p>	<p>西区全域が水没するような周知ではなく、現在想定されている情報をもとに、各地域ごとに津波による被害や対処行動について丁寧に周知を広げていきたいと考えています。 どうぶつものさしはそういった意味で南海トラフ巨大地震の浸水深想定をもとに浸水深を「子どもたちに身近に感じてもらえるもの」という思いから動物の体高で表示しているものであり、情報を正確にかつ、わかりやすくお伝えできるツールと考えます。</p>	①
7	H28.6	<p>小学校単位での避難所を想定しているが、熊本地震では被災者が学校に入れず、4～5ヶ所回ったと聞いた。 単に小学校単位では不十分と考えられるし、</p> <p>①各連合の会館 ②自分のマンションでの在宅避難の考え方も含め、現実的な地域対策本部と各連合や、各マンションと連携できる仕組みを構築すべきと考える。 また、マンションでのコミュニティにも関係するが、大半のマンションでは、自主防災組織すら出来ていないと考えられる。</p> <p>単に小学校単位ではなく、連合や、マンションの理事長を巻き込んだ「避難所」の構築を希望者を広く募り西区全体で考えるべき。 また、自主防災組織つくりのきっかけとして、区役所内の「初期初動カード」をモデルに、マンション内で使える「カード」を作り、配れば関心が高まると考えられる。 浸水どうぶつものさしも、広くマンションに募ってみるべき。 (但し、今のシールではなく、セコムが使っている厚みのあるプレートに変更したほうが良いと考える。</p>	<p>大阪市では小学校区ごとに避難所を指定していますが、それぞれの避難所における浸水想定を踏まえ、津波を伴う地震か否かで避難する場所を決める必要があります。 ご指摘のような連合会館での一時集約やマンション内の在宅避難も非常に有効な避難になりえると考えます。 加えて、マンション自体を避難所として募ってみるというご提案と察しますが、今後、委員の皆さん方のご意見などもいただきながら検討してまいりたいと思います。</p> <p>どうぶつものさしは、厚みのあるプレートで作成すると、浸水深が最大3.5mの箇所もあり、高い位置からのプレート落下の危険性もあることから、平時も含めた安全性を考慮してシール方式としています。 予算との関係はありますが、今後も周知効果がより高まるよう仕様も含めて検討をしていきたいと考えています。</p> <p>【具体的取組2-2-1 防災対策】の取組内容に反映</p>	②
8	H28.6	<p>防災訓練も一部の人だけで、毎回同じメンバーの参加で実施されるように思います。 マンションに居住されている若人達の参加をどのようにして増やすかということが課題だと思われます。</p>	<p>地域の防災訓練では、避難所の運営を担う役員の方々を中心にした本部機能訓練とともに、避難の体験などをしていただけるよう参加者への訓練を並行して行っています。 委員ご指摘の通り、マンションにお住いの若い世代の人たちに関心を持ってもらえるかを念頭に引き続き取り組みを続けてまいります。</p> <p>【具体的取組2-2-1 防災対策】の取組内容に反映</p>	②
9	H28.6	<p>地域それぞれにあらゆる災害に対して、正確な強所と弱所があり、それらを正確に教え知らせる必要がある。(地域の防災リーダーたちのワークショップでもよい)</p> <p>そうすることにより避難などに対しても、無駄な動きも少なく、皆が安全に避難ができる。 特に津波などに対しては、充分な時間があることを、常日頃から避難の予備知識として知らしめておくことが必要である。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、地域ごとの事情や特性に応じて防災対応を地域で共有することは重要と考えます。これまでも実施しております地域訓練に向けたワークショップなどを通じて意識共有を進めてまいりたいと考えています。 津波に対する避難につきましては、やみくもに3階以上に避難するのではなく、現在想定されている津波到達までの約110分まで何をしていくかという観点で周知を進めています。</p>	①
10	H28.6	<p>地域福祉見守り活動従事者としては、決して満足には至らないところか課題だけである。見守り活動を区役所から依頼されるのはいいが、ある程度の情報を開示してもらわないことには、何もわからない状況では見守りなどできない。 これはいつも口がすっぱくなる程問題提起をしているが、こちらも「個人情報・プライバシーを守る」ということで片付けられてしまう。実際に何の情報も与えられない状態で、対象者の安否確認をした際に危険な目にあいかけたこともあるが、ある程度の情報が与えられていたら危険回避は可能である。 さらには社協・民生と同じ内容のアンケートを何度もとらせたり、それぞれが個々に動くので、情報共有ができていない。 それは役所にも当てはまることで、保健福祉課や社協の連携がとれていないのでは、という声を他の活動従事者からもよく聞く。 情報開示(緊急時においても)に縛りがかかりすぎて情報を持っている者が「宝の持ち腐れ」状態になっている、本当に困っている。</p>	<p>見守り事業には福祉局事業の見守りネットワーク強化事業と、西区役所の見守り活動応援事業の2種類がございますが、西区役所から西区社会福祉協議会への委託事業として実施しております。地域福祉見守り活動応援事業のことであると推察し、回答いたします。</p> <p>初めにご訪問いただくお宅の場合は、訪問前に西区社会福祉協議会にどのようなお宅なのか、といった情報をあらかじめご確認いただきたいと考えております。 そうすることで、見守り自体がより充実したものになりますとともに、危険を未然に防ぐことも可能となると思われます。 また、万が一社会福祉協議会にそのような情報がない場合は、社会福祉協議会内でご相談いただき、例えば2人で訪問するなどの対応を取っていただければと考えているところで、 西区役所としましても、西区社会福祉協議会と情報交換を密にし、地域の見守り活動が円滑に運営できるよう対応策を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>また、ご指摘いただいております民生委員児童委員協議会と区社会福祉協議会と区役所の情報連携については、現在調整中ですので、確定しましたらご報告させていただきます。</p>	⑤

11	H28.6	<p>計画には障がい者の要援護者名簿による見守りも出されているので、28年度から実施と聞かされているので、よろしく願います。</p> <p>通所（作業所）などに通っている障がい者が日中に災害になったとき、家族のところに帰れないときは、やはり地域が見守らないといけないと感じています。日頃から地域に障害程度、人数などは情報交換していただきたいと願っております。</p>	<p>平成27年度から地域の皆さんにご協力いただいております。要援護者名簿による見守り活動について、平成28年度は高齢者に加えて障がいのある方も対象とする予定です。</p> <p>障がいのある方を見守る際の留意点等について、マニュアルや研修等を通じてお伝えした後に、名簿の共有を行いたいと考えています。</p> <p>また、同名簿は日頃の見守り活動にご活用いただいておりますが、今後、地区防災計画が策定された地域から順次、自主防災組織の皆さんと災害時に支援が必要な方の情報共有を行っていく予定です。</p>	①
12	H28.6	<p>西区の活動状況やお知らせをFacebookやLine等のSNSで知ることができるようになったのは本当に便利であるし、気軽に情報を入手できる。</p> <p>が、そこで課題が。パソコンや携帯を使いこなしている人はそれで良いが、そうでない人もいます。</p> <p>そこでソフト面も強化しないことには情報伝達の幅が狭くなってまう。</p> <p>ソフト面の代表が西区の広報紙「かぜ」である。新聞の折り込みには含まれているとはいえ、地域に配布される部数が以前より大幅に減っているのでも足りなくなる。</p> <p>さらには、より多くの人に見ていただけるように、商店や飲食店にも協力をいただいて配置できるといいのに、といつも感じる。</p>	<p>区からの情報入手にFacebookやLINEをご活用いただき、ありがとうございます。区役所でもできる限り様々な情報をFacebookやLINEで発信するよう努めております。</p> <p>一方で、ご指摘のように、パソコンや携帯電話などデジタル機器を使用されておられない方もまだまだたくさんいらっしゃいます。そのため、広報紙「かぜ」や情報誌「にしー」など紙媒体とホームページやFacebook、LINEなどデジタルコンテンツを組み合わせ、それぞれの媒体の特性に応じた情報発信が重要だと思っております。</p> <p>広報紙「かぜ」につきましては、現在各地域会館に15部お送りさせていただいておりますが、不足が生じているということでございますので、各会館の状況を確認させていただきながら、送付部数の追加を行ってまいります。</p> <p>また、広報紙やチラシ、ポスターなどの配架等にご協力いただける西区内の事業所や店舗を募集する「広報サポーター」制度を行っており、現在各郵便局をはじめ33か所の事業所・店舗にご登録いただいております。今後も制度の積極的なPRに努め、登録事業所数の増に努めてまいります。</p> <p>【具体的取組3-3-1 戦略的な区の情報発信】の取組内容に反映</p>	①②
13	H28.6	<p>区の情報発信については大いに評価できる。</p> <p>ただ、区民一般は各自の当面する問題以外については無関心と思われる。</p> <p>その対処法としては</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点を絞り込んで、各層に問いかける。</li> <li>・アンケートの回答者や意見投稿者に対して抽選で景品を提供する。</li> <li>・マンションの掲示板を活用する。</li> </ul>	<p>情報発信の取組みについて高く評価いただき、ありがとうございます。</p> <p>ご提案いただいた対処法の1つとして、子育て層や若い世代の主な情報収集ツールの1つとなっているFacebookでは、関心をお持ちいただいたテーマの情報だけをご覧いただけるよう、イベント情報、子育て情報、防災・防犯情報、健康情報など7種類のページを用意することで、問題点を絞り込んだ情報発信を行っております。</p> <p>一方、ニーズ把握のための意見聴取を行う際には、いただいたご意見も参考に、回答していただきやすくなるための工夫について検討してまいります。</p> <p>また、区の職員がマンションを訪問させていただく出張型子育てサークル「にしーひろば」事業との連携など様々な機会を通じて、広報紙の配架や掲示板への掲出についてご協力いただけるよう、マンションへの呼びかけを行ってまいります。</p>	①
14	H28.6	<p>区政委員になり、初めていろいろな広報活動を知りました。区役所は人事異動が多く、なかなか地域になじみにくいと思います。</p> <p>長年続いた連合を利用し、地域と連絡を密にとりあい、西区のよさを広めたいかがでしょうか</p>	<p>広報紙をはじめホームページやFacebookなど様々な媒体を活用しながら、区役所からの情報発信に努めておりますが、媒体そのものが認知されていない、あるいは活用が紙媒体だけに留まることで、情報が十分に伝わっていないことは、先の事務説明会でもご意見として頂戴したところです。</p> <p>「地域と連絡を密に」というご意見も参考にさせていただきながら、地域の皆さんのご負担にならない形でよりきめ細かく情報をお届けできる方法について検討してまいります。</p>	②
15	H28.6	<p>区政としての取組みはある程度評価しますが、それが区民に広く伝わっているか。</p> <p>一部の人だけにとどまらず、広報が今後の課題かなと思われれます。</p> <p>情報を必要としている人に本当に必要な情報が届いているのか見えてこない。</p> <p>広報の方法にしても、区民全体に届くようなものでないと思う。</p>	<p>西区役所では、パソコンやスマートフォンを活用して情報収集する傾向が高まるなどライフスタイルの多様化に対応するため、広報紙やインターネットなど様々な媒体を活用して情報をお届けしております。</p> <p>しかし、必要とされる情報が必要とされる方にどれだけ届いたかということに関しては、ご指摘のように、課題があると認識しております。</p> <p>より多くの区民の皆さんに、必要な情報が届いていると実感していただけるよう、きめ細かく情報をお届けするために、広報紙の配架場所増に向けた検討や広報紙の個別送付（ポスティング）制度のPRなど改善に努めてまいります。</p> <p>【具体的取組3-3-1 戦略的な区の情報発信】の取組内容に反映</p>	①②
16	H28.6	<p>情報発信について、力を入れておられることは理解できます。受け取る側の積極性も必要かと思います。</p>	<p>情報発信の取組みについて評価いただき、ありがとうございます。</p> <p>西区役所から一方的に情報を発信するのではなく、情報の受信者である区民の皆さんに関心を持っていただき、積極的に情報をご覧（入手）いただけるよう、媒体のPRに努めるとともに、発信するタイミングや内容・表現、どの媒体を使うかなど、効果的な手法を精査しながら情報発信に努めてまいります。</p> <p>【具体的取組3-3-1 戦略的な区の情報発信】の取組内容に反映</p>	①②

17	H28.6	<p>ごめんなさい。 職員の対応については良い印象は少ないです。 一部の職員さんですが、説明の仕方が傲慢だったりあちこちの窓口に行ったり来たりさせられてうんざりしたという声をよくききます。</p> <p>やはり我々一般区民は、気軽に話ができる(例えばわからないことを気軽に尋ねることができる)ということを望むので、十分な柔らかいご対応を願う限りです。</p>	<p>西区役所では、区民の皆さんから信頼される職員、また、自らの仕事への責任を果たし、誇りと自信を持って仕事に取り組む職員となることをめざし、「西区職員育成基本プラン」を策定しております。</p> <p>その取組みの一つとして、平成25年度から毎年接遇研修を実施しており、窓口での応接や電話での対応等の能力を高め、親切かつ丁寧で区民の皆さんの立場に立つてものごとを考え、実践できる職員の醸成を図っております。</p> <p>今回いただいたご指摘を真摯に受け止め、より一層区民の皆さんの立場を尊重し、親切かつ丁寧に対応するよう職員指導を強化してまいります。</p>	①
18	H28.6	<p>どの戦略も一応目は通しましたが、字が小さくて読みづらかったのが感想です。 課題を見つけたり意見を述べるところまで行かなかったです。</p> <p>これだけの資料に全て目を通し、評価するには、約1週間では時間が足りません。 出来上がった資料から、簡単なメモをつけ「目を通しておいてください。後ほどご意見をお聞かせください」といった方法で、出来るだけ早い目に資料をください。</p>	<p>西区役所としましても、委員の皆さんをはじめ、区民の皆さんにいかにかかりやすく伝えるのが課題と認識しているところです。</p> <p>運営方針とはどういうものかをご理解いただきやすくするため、今回の区政会議において「平成27年度西区運営方針の実績・評価について(撤退基準未達成分)」という資料を作成してみました。</p> <p>今後ともわかりやすい資料の作成に努めてまいります。</p> <p>また、資料の提供時期につきましても、なるべく早く提供させていただきよう、心がけてまいります。</p>	①
19	H28.6	<p>区政をより理解できるように、訪問や見学もしてみたいです。 参加できる企画やイベントがあればよいと思います。</p>	<p>平成27年度より、区政会議委員の皆さんに対しまして、より西区役所の取組みをご理解いただくため、事業説明会を開催させていただいております。(H27.6は防災について、H28.3は広報について)</p> <p>平成28年度におきましても、事業説明会の開催を予定しておりますので、ぜひご参加いただければと思います。</p> <p>また、あわせて、西区内で開催予定のイベント情報についても広報紙やHPなどを通じて提供させていただきますので、またご覧いただければと思います。</p>	①
20	H28.6	<p>川口の安治川沿いの空地を活かした、例えば築地や札幌のような国内外を問わず観光客を呼べるような、中央市場の場外市場的な施設の充実を図るべきだと思います。 中之島漁港だけでは、中途半端で不十分。</p>	<p>川口の富島跡地は対岸の中央卸売市場前とともに、中之島ゲートエリアとして、大阪府・大阪市が民間団体と連携しながら活性化に取り組んでいます。</p> <p>平成25年2月には、中之島ゲートエリアの魅力創造・活性化に向けた中長期的な活動方針となる「中之島ゲートエリア魅力創造基本計画案」が採択されました。</p> <p>本計画案に基づき、イベント等の実施によるエリア魅力を打ち出す段階を経て、現在は第2段階として、民間事業者によるマーケットの常設運営(中之島漁港)など富島跡地を暫定的に利用するとともに、エリアの魅力を広くPRすることで、ご指摘のような集客施設の充実など民間によるエリア全体の開発の可能性について、検証が行われています。</p> <p>区役所といたしましては、区内の水辺拠点の1つであります富島跡地の魅力向上をめざし、民間事業者との連携を図ってまいります。</p>	②
21	H28.6	<p>いろいろな取り組みをいただいておりますが、区民全体に周知させることはなかなか進まないように思います。 特に地域コミュニティの活性化については、町会の役員等が中心になり活動していると思いますが、役員の中には何十年と役員をされている人が多く、高齢化が進み、今後の活動も限られてくると思う。 もっと若い世代が活動できるような組織が必要ではないかと思う。</p>	<p>まちづくり活動の活性化には、若い世代の人たちのコミュニティとのかかわりが不可欠です。</p> <p>いろいろな世代のいろいろな分野の人たちがいきいきとまちづくり活動へのかかわりを持てるよう、皆さんと一緒に考えてまいります。</p>	①
22	H28.6	<p>・区役所からの広報について、最近ではネットでの提供もされているが、高齢者にはスマホやパソコンの操作は難しいと思う。</p> <p>・若者世代でもネットから得た情報を元に区のイベント等に参加された方の数はどれくらいいるのか？</p>	<p>・にぎわいづくりのイベントの各会場ではアンケートを実施し、情報の入手経路についてお尋ねしていますが、来場されたすべての方からご回答いただいたものではありません。</p> <p>結果といたしまして、広報紙やインターネットなどを見てお越しになられる方もおられますが、「お知り合いから聞かれて参加される」、いわゆる口コミによる参加が一番多く、次いで「たまたま通りかかった」、そして「ポスターやチラシを見て」という回答が多い状況です。</p> <p>・西区役所としましても、区民の皆さんが様々な方法で情報を受け取ってられるものと想定しています。</p> <p>・こうしたことから、今後も広報紙はもちろん、ホームページなど様々な媒体を組み合わせてながら積極的な情報発信を進めてまいります。</p>	①

23	H28.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの病院で行っているイベントの参加者について、アンケートをとられており、イベントを知ったきっかけは町会の掲示板を見てという意見が多かったとのこと。</li> <li>・区役所からの資料の各戸配布は地域への補助金の廃止に伴い、なくなったと聞いている。</li> <li>・区役所からの資料を町会で配ってというのは大変な手間がかかる。そこで、町会の掲示板を活用するのはいかがか。それなら負担なく対応できる。</li> <li>・また、広報紙について、区役所に依頼し、マンションに30部置いている。西区内にあるマンションにそのような依頼を行い、配置されてはどうか？</li> <li>・町会費を払っているのに、区役所から情報や案内も入ってこない。(各戸配布もなくなったため)それなら町会に入っているメリットがないという意見があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の回答にも記載しておりますが、ポスターやチラシが、過去のアンケート調査においても行政情報の入手手段として一定の効果があるとの結果が出ております。</li> <li>・こうしたことから、町会等の掲示板につきましても、各地域の皆様のご協力がいただけるようであれば、情報発信の手段として十分有効性があるものと考えられることから、管理されておられます地域振興会(町会)等の皆さんとご相談させていただきながら、活用に向けた検討を行ってまいります。</li> <li>・マンションでの広報紙の配架につきましては、管理組合への協力依頼の方法を含め、今後具体的に検討してまいりたいと考えております。</li> </ul>	①
24	H28.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区から配布される資料が膨大すぎる。</li> <li>・本当に知らせないといけない内容についてポイントを絞り、わかり易い広報をしないと、資料を読んでもらえないと思う。</li> <li>・新聞折込などの場合、たくさん折込がありすぎてどれを見ればよいのかわからない。</li> <li>・町会の回覧板などであれば、どれが重要なかわかりやすく、情報交換もできるので、周知しやすいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区広報紙は新聞折込によるお届けとなることから、表紙(1面)は、区広報紙のタイトル文字の「かぜ」をわかりやすく表示したり、写真を大きく使用したりすることで、少しでも関心を持っていただけるようなレイアウトとし、他の折込チラシと区別していただきやすいよう工夫しております。</li> <li>・また、区政会議における資料なども、ご覧頂きやすくなるよう、委員のご意見を伺いながら対応してまいりたいと考えております。</li> </ul>	①
25	H28.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌「にっしー」について、発行当初は新聞折込で入っていたが、最近が入っていない。新聞折込に入れて欲しい。</li> <li>・スマホよりも広報紙のほうが見やすいと思う。</li> <li>・若いお母さん方も、スマホを最初に見ない。広報紙から見始めて、欲しい情報をスマホで見に行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌「にっしー」の1～3号は、厚生労働省の交付金「起業支援型地域雇用創造事業」を活用し発行しました。新聞折込によりお届けしたことから、広く区民の皆さんに知っていただくことができ、高い評価をいただきました。</li> <li>・一方、厚生労働省の交付金は単年度限りであったことから、継続発行して新聞折込みを実施するためには、西区で予算を確保する必要がありました。しかし、新聞折込みも含めたすべての経費をねん出するまでには至りませんでした。</li> <li>・西区役所といたしましては、区の魅力をさらにお伝えしていくためにも、情報誌「にっしー」は継続して発行することとしましたが、事業経費を抑えるため、4号以降は新聞折込ではなく、区役所や図書館、地域集会所、地下鉄駅などに配架し、手に取っていただけるようにいたしました。発行の経緯をご推察のうえ、ご理解いただけますようお願いいたします。</li> <li>・情報誌「にっしー」の今年度の新たな試みとして、年2回発行しているうちの1回を、毎月発行の区広報紙と同サイズ(タブロイド版4ページ)として、広報紙に挟み込む形で、新聞折込みでお届けする予定です。</li> </ul>	①
26	H28.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報媒体一覧をいただいているが、それらがどこで配布されているのかわからない。</li> <li>・それぞれどこで手に入るのかの一覧があればよいと思う。</li> <li>・地域でも広報紙を発行し、各戸配布を行っているが、興味のない人は見ない。</li> <li>・ホームページ等でどういった資料を発行しているのかを表示した上で、それがどこで手に入るのかを周知すればよいのではないか</li> <li>・区役所が行ったアンケート結果が悪いのも、無作為にアンケートを取っているからであり、興味のない人からの回答が悪い結果となっているのではないか</li> <li>・以上のことから、アンケートのとり方についても一考が必要ではないか</li> <li>・町内会での口コミなど、人のつながりができれば情報が行きわたり、広報の取り組みに対しても評価に結びつくのではないか</li> <li>・人がつながるように西区役所が誘導していく必要があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報媒体の入手方法について、配架場所も含めホームページ等でお知らせするよう、改善を図ってまいります。</li> <li>・転入手続きに来られた区民の方にお渡ししている、生活に必要な情報をまとめたセット(転入者パック)に封入している広報媒体一覧についても、広報紙の入手できる場所をお知らせするよう、内容の改善を図ってまいります。</li> <li>・アンケート方法につきましては、結果に偏向が出ないよう無作為抽出を採用しておりますが、無作為抽出であっても、区役所からの情報が届いていると感じていただける結果が少しでも改善されるよう、いただきましたご意見も参考に、発信方法を工夫してまいります。</li> </ul>	①

27	H28.6	<p>・西区の広報紙について、スーパー等で見かけるが、社会福祉協議会の広報紙と同じところに配置してあったりするが、目立たなくわかりにくい。</p> <p>・掲示されているものでも、きれいに貼られていないときは見づらいので、見なくなってしまう。</p>	<p>・スーパーや郵便局等での配架については、ご協力先のスペースや配架状況で異なってまいります、どのような配架場所においても区民の皆さんの目に留まるように表紙のデザインやレイアウトに工夫を行ってまいります。</p> <p>・地下鉄駅構内の掲示板につきましては、構内の掲示板の位置にもよりますが構内に吹き込む雨や風の影響を受け、ご指摘のような状態になる場合もあるかと思われま。区民の皆さんにご覧いただける掲示物としての役割を果たすよう、各掲示物についてはわかりやすく整理して掲示するとともに、しっかりと貼付するよう努めてまいります</p>	①
29	H28.6	<p>・町会加入率が落ちてきている(50%を切っている)中で、町会に入っていない方への広報をどうしていくかが課題。 他区などからの転入手続きの際に西区の広報媒体一覧を渡し、周知する方法では？</p>	<p>・転入手続きに来られた区民の方には、「くらしの便利帳」やごみ出しのマナー、収集日をお知らせするパンフレット、西区の地図など生活に必要な情報をまとめて封入した「転入者バック」をお渡ししています。</p> <p>・「転入者バック」には、西区の広報媒体についてお知らせするチラシも同封しておりますが、広報紙のお届け方法については新聞折込のほか個別配付(ポスティング)のご案内のみとなっております。 今後は、駅や郵便局、スーパーなど区内で広報紙を入手できる場所についてもお知らせするよう、チラシの内容を改善いたします。</p>	
30	H28.6	<p>・マンションの町会加入について、行政から管理会社などへの案内をしてもらわなければ町会からだけでは無理。</p> <p>・200世帯を超えると個別に町会に入っていたのが難しいので、やはりマンション全体で入っていたのがよいと思う。</p> <p>・マンションに町会加入の話に行ったが、ニーズがなければ聞いてもらえない。 そこで、行政から例えば防災・減災の取組などをきっかけとして必要性をアピールしていただければ話ののっていただけだと思う。</p>	<p>・これまでも、たとえば町会費から防犯灯を設置しているといったような、町会が地域全体のための取組をしているという話をさせていただいております。 これからも、マンション管理組合との協議や、小さな集まりでもお声をかけていただければ、こういったお話はもちろん、災害に対する備えの重要性や災害時の地域とのかかわりの大切さなどもお話させていただきまいます。 また、同時に、町会の方でも日々のお付き合いなどの場面で、町会加入のメリットや町会費の活用などについて伝える取組をしていただくことで、少しずつでも町会への理解や加入者が向上しますよう、西区役所としても協力させていただきたいと思っております。</p>	①
31	H28.6	<p>・情報発信、コミュニティづくり双方について、全て町会加入に結びついている。</p> <p>・「まちとナビ」というアプリなら、お住まいの地域がどの町会かわかり、かつ、どのような活動をされているのかわかる便利なものである。</p>	<p>・札幌市が提供しているアプリ「まちとナビ」では、住所を入力することで、居住地の町会やまちづくりセンターを検索することができ、町会への加入フォームなども提供されています。</p> <p>・このように、居住地ごとに必要な情報が検索できる仕組みは、住民の皆さんの利便性や地域コミュニティの向上につながるものであり、今後の参考とさせていただきます。</p>	
32	H28.6	<p>・子育て世代が増えており、学校に行かない子どもはいないので、学校等とのつながりから町会加入につなげないか</p> <p>・学校PTAの関係で、いかに保護者の皆さんに地域活動に関わっていただくのが大事。</p> <p>・学校では地域のことを教えていないので、子供は町会のことを知らない。学校のほうでも協力してもらえよう、指導して欲しい。</p> <p>・PTA活動として、近隣小学校のPTAと協力してうまくやっているが、それが町会活動になった場合にうまくいかないケースがある。</p>	<p>・西区役所では、昨年度から災害対応に関して小学校の先生方と意見交換会をスタートしています。直前に開催した意見交換会では、町会のことなども含めて地域の防災の仕組みや取組について先生方に説明し、学校から子どもたちに地域のことが伝わる機会となるようお話をしました。 今後も引き続き、こういった機会を通じて地域の皆さんの活動などを子どもたちにお伝えできればと思っています。</p> <p>・土曜授業では、防災の取組を行い、地域の方、PTAの方にも参加いただいております。</p> <p>・子どもが増えることに伴い、学校だけでは解決できない問題が出てきており、それらの課題に対して地域の方々と話し合える場として学校協議会を開催しています。</p>	①
33	H28.10	<p>広報紙の全戸配付について。 防災など非常時のことも考え、町会の会員であってもなくても地域の人を把握していく必要があると思う。組織作りのためにも全戸配付はしてほしい。</p>	<p>・現在、新聞折込みや区内施設等への配架・希望者への個別配送(ポスティング)でお届けしている広報紙「かぜ」は、アンケートによりますと、新聞を購読されている方々のうち22%はご覧になっていないという結果が示されました。このことから、仮に全戸配付を行ったとしても同程度の方々が広報紙をご覧になれないということが推察されます。 同じアンケートにおいて、個別配付のポスティング制度や施設等への配架に高い関心が示されています。一方、全戸配付に変更するためには、現在よりも400万円以上の予算を必要とします。 こうした状況を総合的に勘案し、費用対効果も踏まえ、平成29年度はポスティング利用者の拡大や配架先の拡充による広報紙到達可能率を向上させることで、本当に広報紙をご覧になりたいと思われる区民の皆様にご覧いただける体制を強化してまいりたいと考えております。</p>	③

34	H28.10	<p>・予算をたてるなかで無駄なく使うようにすべき。「かぜ」や「につしー」は郵便局に残っていることもある。必要部数を検証したのか。</p>	<p>・広報紙は区内の郵便局や駅・スーパーなどにご協力いただき毎月一定部数を配架しておりますが、残数の把握はできておりませんでした。</p> <p>・調査を行い、必要部数について改めて検証いたします。</p>	①
35	H28.10	<p>・祭に関しても何に對しても人が増えるということは経費が増えるということ。 町会に入らない人も増えてくる。そうなれば会費収入が入らない。</p> <p>・地域の交流のために必要な経費は町会費で補っている。そこを補っていただかなければ町は衰退する。</p>	<p>・人口増加により、活動の担い手の負担も増えていく、そしてそういった担い手の育成やつながりづくりの必要経費は主に町会費を活用していただいているという委員のご指摘は理解いたします。</p> <p>・町会加入の促進につきましては、安全の確保など、町会活動がまちのベースの部分を支えていることの効果的周知により一層努めていきたいと思ひます。</p>	①
36	H28.10	<p>・地域活動協議会というものが出てから、おかしくなっている。</p> <p>・地域振興会でやり直していくということも考えながらやっていくべきでは。</p>	<p>・地域活動にかかわるいろいろな団体や事業所など、幅広い協議体で補助金を効果的に活用していただきたいという主旨から各地域で地域活動協議会を発足していただいております。</p> <p>・西区につきましては、地活協発足前から各連合振興町会が幅広い構成団体で活動を進めてこられてきたため、一般的に地域活動協議会のメリットとして実感していただく部分が、西区においては少ない現状があると思ひます。</p> <p>・また一方で、西区の地域活動は連合振興町会活動なくしては成り立たないことも十分理解しております。</p> <p>・今後も、地域活動協議会の考え方や仕組みへのご理解を深めていただけるよう努めてまいりたいと思ひます。</p>	④
37	H29.1	<p>・広報にかかる区民アンケートについて、アンケートをとっていただいているのはありがたいが、有効回答数が掲載されていないので、わかりにくい。</p>	<p>・アンケートは住民基本台帳から無作為で抽出した20歳以上の区民の方1,370名のうち、386名の方からご回答をいただき、回答率は28.2%でした。</p> <p>・回答者の年齢構成を西区の年齢別人口構成と比較しましたところ、おおむね近い割合を示していることから、本アンケートの結果につきましては有効であると考えております。</p> <p>・次回からは、資料としてアンケート結果をお示しする場合、回答数を記載するよう改善を図ってまいります。</p>	①
38	H29.1	<p>・まず、前提として29年度全戸配付をするのか？</p> <p>・区役所はマンションがどこにあるのか、というのを把握しているのか？ 全てのマンションに案内を送付して、広報紙を掲示板で周知していただくとか、配置してもらおうとか、そういう手法もとれるのではないのか？ 単年度の取組ではなく、継続的な取組としていただきたい。</p>	<p>・29年度の広報紙の配布方法につきましては、従前どおり新聞折込みを基本とし、加えてポスティングの利用者や配架先の拡大につながる取組を進めることで、広報紙を本当に必要とされている方にお届けする方策を充実させてまいります。</p> <p>・広報担当では、区内のマンションの所在について把握できておりませんが、委員ご提案のマンションへの依頼につきましては、1つの案として手法を検討させていただきます。</p> <p>・現在は、直接マンションを訪問させていただく機会に合わせてお願いさせていただくことで、協力マンションを少しずつ増やそう努めており、今後も継続してまいります。</p> <p>【具体的取組3-3-1 戦略的な区の情報発信】の取組内容に反映</p>	②
39	H29.1	<p>・マンションでコミュニティの活動をしようとしたが、どうしてよいかわからなかった。 他のマンションはどういう活動をしているのか、調べようとしたが、全く分からなかった。 他のマンションの取組について、周知いただけるような取組を区役所がしていただければ町会の魅力が伝わるのではないのか？</p> <p>・防災などの取組を区役所から行っていただいて、町会加入への促進などご協力をいただければと思う。</p>	<p>・マンションコミュニティづくりの好事例などの情報はある程度把握していますが、委員ご指摘のとおり、広く皆様方に知っていただくような取り組みが不足していると思ひます。まちづくりセンターが開催する地活協勉強会などで事例紹介や現地でのヒヤリングなど、皆さんにご活用いただける機会を作っていきたいと思ひます。</p> <p>・これまでも、新築マンションの説明会などの機会をいただき、町会の皆さんのデイリーな活動が防災や日々の安全見守りなど、まちづくりのベースになっていることを説明させていただいております。引き続き、こういった機会をご提供いただければと思ひます。</p>	①
40	H29.1	<p>・マンション1棟の大半が生活保護を受けているようなマンションもある。 管理人さんがいらっしやらないマンションもある。</p> <p>・広報紙について、管理人さんがいらっしやらない場合や、各戸個別に配布できない場合などは掲示板に貼るなどの対応をしてもらえばどうか。</p>	<p>・委員ご指摘のとおり、マンションと言ひましても、分譲・賃貸・ワンルームなど形式の違いや管理組合・管理人の有無でアプローチの方法が違ってまいります。いただきましたご意見も参考に検討してまいります。</p> <p>【具体的取組3-3-1 戦略的な区の情報発信】の取組内容に反映</p>	②